

学科名	ミュージックアーティスト科
コース名	全コース
授業科目	音楽基礎B3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	田中 綾美
実務経験	有
実務経験職種	ミュージシャン、作曲家、プロデューサー、レコーディングエンジニア
授業概要	毎回の授業内で、講師が演奏したフレーズを耳コピーして譜面に起こすトレーニングや、初見演奏、視唱等のトレーニングを行う。また、音楽理論のさらに幅広い知識を習得するために、記譜法や音程の解説なども行う。
到達目標	A.半音と全音、音程について理解できる B.メロディ進行の分類ができる C.4Beat、8ビートのメロディを採譜できる D.16Beatのメロディを採譜できる E.4拍子以外のメロディを採譜できる
授業方法	オンデマンド授業にて講義を行う
成績評価方法	試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)
履修上の注意	専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	授業動画、授業内課題

授業計画

第1回	100V(電圧)で15A(電流)の電気の熱量は1500Wの計算式を理解する。
第2回	ボーカルに適したマイクの種類を理解する。
第3回	ドラム各パーツに適したマイクの種類を理解する。(1)
第4回	ドラム各パーツに適したマイクの種類を理解する。(2)
第5回	ギターアンプに適したマイクの種類を理解する。
第6回	ベースアンプに適したマイクの種類を理解する。
第7回	ヘルツと位相について理解する。
第8回	多数のマイクを立てる事による位相のズレを理解する。
第9回	インピーダンス、D.I.を理解する。
第10回	真空管について理解する。(1)
第11回	真空管について理解する。(2)
第12回	ボーカルの録音の仕方を理解する。
第13回	ドラムの録音の仕方を理解する。
第14回	ギターアンプの録音の仕方を理解する。
第15回	前期のまとめ